

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 30年 12月 29日

事業所名 こどもプラス吉野ヶ里教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	3	2		聴覚過敏の児童やパニックになった児童のクールダウンする場が重なってしまった場合は、事務所にて対応する事もあります。
	2	職員の配置数は適切である	1	2	3		保育士、児童指導員の配置については適切ですが、利用者の人数が多い場合には、職員の人数を増やし、安全に過ごせるよう支援
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3	0		
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	0		毎日全体のミーティングを行い、その日の目標・役割分担・前日の振り返りを行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0		年1回実施しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2	1		定期的の実施しています。運動遊びも研修を定期的を受けて活動に生かしています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		契約時と年に一度更新を行い、スタッフ間で話し合いをしています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	0		スタッフがいつでも目を通せるように保管し、活用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	0		毎日のミーティングで職員皆で確認しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	0		毎月のイベントに加え、休日等、利用時間が長い時は外出を企画しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		運動遊びは集団での活動の場とし、宿題や自主活動は個別や小集団で行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	0		毎日のミーティングで役割を決めて活動をスムーズに行えるように工夫しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	2	3		振り返りは翌日行い、職員間で共有するようにしています。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	毎日記録を行い、次の支援に生かせるよう改善について話し合っています。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1	0	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	2	1	3	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0	管理者・児童発達支援管理責任者で参加するようにしています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	0	0	下校引き渡し時に情報交換を行っています。その他必要に合わせて学校側にお話しを伺っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	5	1	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	4	1	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	4	2	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3	2	研修に参加するよう計画しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2	1	休日等を利用し児童館などへ外出しています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	0	4	2	送迎時や連絡帳を使用して連携できるよう努めています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	1	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1	0	契約時や通知書配布時に伝えるようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	3	0	送迎時や連絡帳、また電話にて対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	1	5	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	0	苦情窓口を明確にし、迅速に対応できる体制を整えています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	毎月お便りにてお知らせしています。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0	書類は鍵付き書庫にて保管する等取り扱いに注意しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	4	近所の宅老所にイベント等での訪問を定期的に行っています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1	0	相談室に掲示し、契約や面談の時等いつでも見る事が出来ます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	0	年2回実施しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	0	定期的に実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	1	4	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	1	4	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	0	